

# うちこしりポート



うちこし基安 事務所 〒811-1302 福岡市南区井尻4-3-49(西鉄井尻駅交番前)  
TEL092-589-3600 FAX092-589-3636 Eメールm@uchikoshi.info サイトhttp://www.uchikoshi.info/

福岡市議会議員(南区)  
うちこし 基安  
打越基安

年末のご挨拶 良いお年をお迎え下さい! 2013年12月号

## 人口増と裏腹で進む

## 高齢化対策と子育て支援が欠かせない

福岡市の人口は、今年5月に150万人を突破しました。今後若者の流入が続くことが見込まれ、人口のピークは2035(平成47)年頃で約160万人に達し、その後、減少に向かうと予測されています。人口の増加は都市の成長のパロメーターとも言われますが、一方で今後ますます、少子高齢化の波に見舞われていきます。今から、高齢者

対策や子育て支援対策を備えていくことが重要です。

### 高齢化問題

人口増加を上回る高齢者の増加、単身高齢世帯も倍増

福岡市への若者の流入が続くのは、市内および都市圏に大学や専門学校が多いことやサービス業の構成比が高いことなどが要因です。しかしながら、今後

福岡市の人口は現在の150万人から2025(平成37)年には159万人と9万人の増加に対し、高齢者は28万人から40万人へ12万人の増加が見込まれています。12万人のうち9万人が

は、15歳から64歳までの生産年齢人口の減少と65歳以上の高齢者の増加が見込まれています(図表①)。とりわけ、後期高齢者(75歳以上)と単身高齢者が増加していきます。

福岡市の人口は現在の150万人から2025(平成37)年には159万人と9万人の増加に対し、高齢者は28万人から40万人へ12万人の増加が見込まれています。12万人のうち9万人が

### 介護が必要になった時、在宅生活希望が6割

75歳以上です。単身高齢世帯も同期間に6万世帯から12万世帯へ倍増します。そして、要介護者が5・3万人から10万人へ倍増する可能性が指摘されています。南区もその例外ではありません(図表②)。

## 今年一年ありがとうございました

来る迎年は、午年、私 今年読んだ書籍に『海の干支であり、還暦とな 賊とよばれた男、出光佐三』があります。頭張ります。

おかげ様で、本年は、に響いたのは出光佐三 皆様のお支えにより、議 翁の理念、 員就任10年の節目の年

でありました。「二道十 年」さし当たり十年一 道

①勤勉 ②質素 ③人のため

を歩む、さすれば、一応 の土台はできる。九十九 人が向こう岸で騒いで いても、自分一人は志し た道を歩くだけの覚悟 がなくてはならない意 であります。

今、省みますと、いかに今の風潮とは逆であるかに思い当ります。

いかに楽をするか ● いかに派手に暮らすか ● いかに自分が儲かり、得をするか ● 一生懸命に努力をして働くこと。質素を旨として心がけること。そして人のため、世の為に尽くして生きること。今だからこそ、出光佐三翁に学び、これからの一年一年を、皆様とともにある市議会議員として、私心を出さず、「低く座し、高

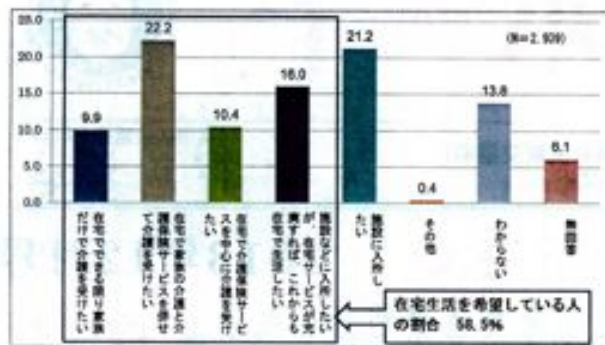
く考える」をモットーに、「第一級」と言われる立場になれるよう前進してまいります。



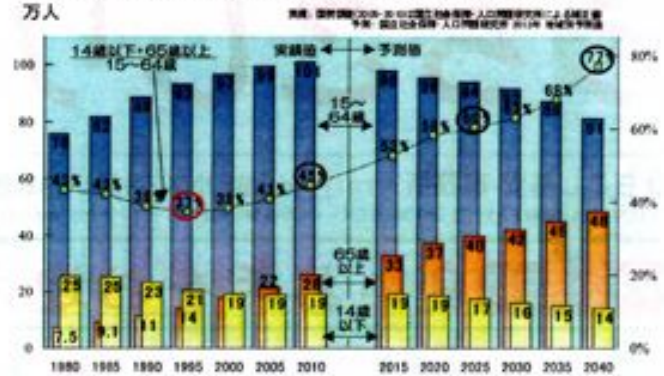
「つかさ会」出演=もちバレス

福岡市は、高齢者一人ひとりが生きがいを持ち、尊厳を保ちながら住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けることができる地域社会の形成を目指しています。「福岡市高齢者実態調査」(平成22年度)により、介護が必要になった時、在宅生活を希望している人が6割近く

図表③「介護が必要になったときにどのようにしたいか」  
(平成22年度「福岡市高齢者実態調査」)



図表①福岡市の人口推移～生産年齢人口が減少し、高齢者が増加する～  
万人



図表④特別養護老人ホーム・  
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)・  
小規模多機能型居宅介護の整備状況

介護保険計画		第4期			第5期		
年度		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度 (予定)	H26年度 (予定)
特別養護老人ホーム※1	当年度整備数	80	269	223	402	401	329
	整備総数	3,502	3,771	3,994	4,396	4,797	5,126
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)※2	当年度整備数	13	38	144	126	108	126
	整備総数	1,312	1,350	1,494	1,614	1,722	1,848
小規模多機能型居宅介護※3	当年度整備数	0	5	9	7	4	2
	整備総数	14	19	28	35	39	41

図表②南区の高齢者人口・高齢化率  
(平成25年9月末現在)

校区名	人口	高齢者人口	高齢化率	世帯数
玉川	15,517	1,990	12.8%	8,708
大橋	10,054	1,430	14.2%	6,649
境原	12,717	1,772	13.9%	6,866
横手	7,955	1,217	15.3%	3,776
西高宮	17,342	2,793	16.1%	8,199
宮竹(南区)	12,308	2,079	16.9%	6,377
長丘	10,888	1,804	16.6%	4,251
日佐	6,812	1,154	16.9%	2,897
三宅	16,244	2,838	17.5%	8,117
高木	8,471	1,463	17.3%	4,519
若久	11,235	2,006	17.9%	5,108
野多目	11,620	2,390	20.6%	4,797
大池	8,462	1,807	21.4%	3,798
弥永西	8,330	1,781	21.4%	3,606
筑紫丘	8,677	1,913	22.0%	4,120
柏原	9,508	2,109	22.2%	3,757
花畑	9,295	2,146	23.1%	3,993
西花畑	12,014	2,814	23.4%	5,118
鶴田	7,309	1,884	25.8%	3,040
粟若久	7,621	1,987	26.1%	3,361
老司	8,585	2,239	26.1%	3,791
西長住(南区)	3,828	1,040	27.2%	1,740
長住	8,444	2,300	28.2%	3,664
弥永	6,589	1,921	29.2%	3,156
粟花畑	9,211	2,730	29.6%	4,147
南区計	248,830	49,687	20.0%	117,495

※見守りダイヤル  
孤立死ゼロを目指して  
福岡市は、自宅を訪問する企業の方が、訪問先で孤立死などの住民の異変に気付いた場合、通報を受ける「見守りダイヤル」を設置しました。

福岡市 見守りダイヤル 365日24時間対応  
080-9100-0883  
※安否確認は8:00～20:00で対応します

**子育て問題**  
乳幼児の保護者の約6割が子育てに負担感や不安感を感じています。

福岡市の年少人口(0～14歳)は2005(平成17)年まで減少傾向にありましたが、現在は微増しており、2020(平成32)

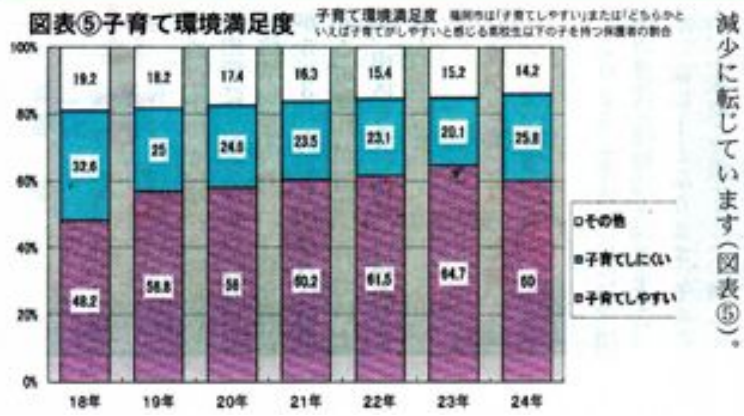
を占めています(図表③)。  
福岡市は、見守り推進プロジェクトなど地域で支え合う仕組みづくりとともに、介護を要する状態になっても安心して生活することができるよう、特別養護老人ホームなどの介護基盤の整備にも取り組んでいます(図表④)。

**健康増進イベントを市民運動に**  
一方で、私・うちこしは、高齢者の方が健康で暮らせるように、健康増進施設の整備が必要と考えているのですが、財政上の問題から施設建設はままなりません。

そこで、身近な公民館などで、現在の体育指導員に加え、高齢者向けの健康増進委員を置いて、ラジオ体操やウォーキングなどの健康増進イベントに積極的に取り組めないかと考えております。

福岡市における「子育て環境満足度」は2009(平成21)年度には6割を超え、年々上昇していましたが、2013年度は減少に転じています(図表⑤)。

福岡市における「子育て環境満足度」は2009(平成21)年度には6割を超え、年々上昇していましたが、2013年度は減少に転じています(図表⑤)。



年頃をピークに減少に向かうと予想されています。  
また、若い独身の女性が多いことなどから、1人の女性が生涯に産む子供の数を示す合計特殊出生率は全国平均より低く、政令指定都市(20市)の中でも第16位ですが、1000人あたりの出生数は全国平均を上回り、政令指定都市で第2位となっています。

図表⑥幼稚園及び保育所の通園者数

	23		24		25		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
幼稚園	市立	471	2.31%	470	2.23%	434	2.02%
	私立	19,906	97.69%	20,645	97.77%	21,039	97.98%
		20,377	100%	21,115	100%	21,473	100%
保育所	市立	1,422	5.32%	1,343	4.82%	1,226	4.23%
	私立	25,310	94.68%	26,537	95.18%	27,758	95.77%
		26,732	100%	27,880	100%	28,984	100%

※幼稚園は5/1時点、保育所は4/1時点

就学前児童の増加に伴って、**保育所整備は、借地料にも補助金を**

民間の土地を借りる場合も借地料が高いのがネックとなっており、借地料にも補助金を出す仕組みにしないと整備が追い付かないのでは、と考えています。

しかしながら、保育所の新築・増設には補助金が出ますが、用地の取得費には出ません。土地を所有していない事業者は新たに手当てしなければなりません。

民間の土地を借りる場合も借地料が高いのがネックとなっており、借地料にも補助金を出す仕組みにしないと整備が追い付かないのでは、と考えています。

その一方で、福岡市「次世代育成支援に関するアンケート調査」(平成21年)により、都市化・核家族化の進行や転入者が多いことを背景にして、乳幼児の保護者の約6割が、子育てに負担感や不安感を抱えています。

充実してほしい子育て支援策としては、子育て費用負担の軽減、子連れで楽しめるイベント、職場環境の改善などが求められています。

福岡市は「待機児童ゼロ」に向けて整備を進めていますが、1〜2歳児の申込率が急激に伸びており、1〜2歳児枠の拡大を行うとともに、今年度既に実施分の1900人に加え、平成26年度当初までの整備数3500人分、さらに平成26年度中の開所のための前倒し整備400人分を12月補正予算で手当てしたところでです。

福岡市は、既存園の増設、新築、幼稚園の活用、学校の余裕教室を活用した分園整備等のほか、家庭的保育事業など様々な整備手法を活用し、地域の実情に即した整備を促進しているとしています。

## 井尻地区まちづくり期成会の活動を報告させていただきます

### 事例調査／ワークショップの開催／バスアンケートの実施

現在、井尻の街の将来像を検討しています。井尻地区まちづくり期成会は、住みよい街づくりにつながるように取り組んでおり、ご協力をお願いします。

#### ■事例調査

7月22日(月)に井尻地区のまちづくりを考えるヒントを得るため、期成会のメンバーの皆さんと総勢約30名で、香椎と浜の土地区画整理事業を勉強してきました。



香椎区民事務所での事業の説明を聴く期成会のメンバー



バスの車内で事例調査の説明する私-うちこし



ワークショップの様子



私もワークショップに参加しました

現在、連続立体交差事業と土地区画整理事業による総合的なまちづくりを進めている香椎地区では、事業の進め方や苦勞話などを福岡市の担当者から伺うことができ、大変参考になりました。期成会の皆さんも熱心に話を聴いておられました。

#### ■ワークショップの開催

10月28日(月)には、「鉄道を高架した場合の井尻駅の位置は地域にとってどこが望ましいか」



アンケートの内容について話し合いました



**■バスアンケートの実施**

井尻地区の交通環境をより向上させるため、高木校区、宮竹校区にお住まいの方々を対象に、バスの利用に関するアンケート調査を実施しました。

期成会メンバーはもちろんのこと、公民館や町内会の皆さんにもご協力いただき、約1000人の方々からの回答をもらうことができました。これら貴重なご意見を整理・分析して、今後のバス交通の充実に向けた活動につなげていきたいと考えています。

をテーマにしたワークショップを開催しました。

期成会のメンバーが4つの班に分かれて、それぞれ自分達の意見を出し合いました。私も一つの班に加わりましたが、皆さんのまことに對する思いが伝わってきて、大変有意義な時間となりました。駅の位置は、鉄道高架化後のまちづくりを考える上で、非常に重要な核となります。しっかりと時間をかけて議論し、地域としての意見をとりまとめることが肝要だと考えます。

## 恒例のゴルフ大会と 市政報告会を開催

うちこし基安後援会「八天会」の第11回ゴルフ大会が、11月7日筑紫ヶ丘ゴルフクラブで開催され、33組130名の皆様にご参加頂きました。前日の雨で天候を心配していましたが、当日はゴルフ日和に恵まれ、皆様プレーを楽しまれたようです。総合優勝は近藤弘幸さん、女性の部優勝は山本幸美さんでした。おめでとうございます。

ゴルフ大会の表彰式は、市政報告会も兼ねて18時30分より、セントラライザ博多であり140名の方々に出席頂きました。市政報告会では、うちこし議員が最近の市政を中心に政局について語りました。来年も皆様のご参加をお待ちしております。



おいさつするら様幸男・うちこし基安後援会会長

## 秋晴れの中、下関市の角島まで行ってきました

9月26日(木)、秋晴れのすばらしいお天気の中、バス2台で「うちこし会バス旅行」に行つて来ました。今回は、福岡から関門海峡を渡り、下関市の唐戸市場、川棚、角島へと少し足を伸ばしました。

唐戸市場はふくの市場として有名ですが、皆さん、新鮮な魚を目利きしながら購入しておられました。昼食は川棚で名物かわらそばを頂きました。

午後は、白い砂浜とエメラルドグリーンの海で映画やテレビのロケ地としても有名な角島へと向かいました。島へ渡る角島大橋はエメラルドグリーンの海の中へ真っすくに伸び、その美しい眺めに感嘆の声ががりました。

島で、お土産を買い求めた後、車中で楽しいゲームをしながら、

帰路につきました。ご参加の皆様は、ハードな日帰り旅行にもかかわらず、快活に過ごしておられました。来年もまた、お会いしましょう。



角島灯台をバックに記念撮影

## 恒例の餅つき大会で一足早い年の瀬にした。

11月16日(土)、横手南会館を借りし、もちつき大会を開催致しました。理事の皆様は、早朝よりご準備いただき、ありがとうございます。

お蔭様でつき立てのお餅をおろし大根、黄粉、ぜんざいなどにして、美味しく頂くことができました。

今回は120名の方にご参加頂き、ひと足早い年の瀬となりました。



## 『中国はいま、なにを考えているか』

うちこし基安後援会「八天会」の第10回勉強会が11月27日、セントラルホテルであり、うちこし議員と親しい福岡都市圏の市議、町議の皆様も含めて55人の方が出席されました。今回は、中国との外交問題が取りざたされている中で、大国となった中国との関係を福岡在住の私たちはどう考えていけば良いのかという観点から企画しました。

講師は、RKB毎日放送の取締役報道局長兼アジア戦略室長の飯田和郎さんで、「中国はいま、なにを考えているか」アジアの中の福岡で考える」と題して、お話しして頂きました。飯田さんは今年4月、RKBに入社されるまでは毎日新聞の外信部長で、30年間の記者生活のうち、北京支局に通算2度7年間、勤務された方です。

ご自身の中国での取材経験から、お互い、引越してできない。隣国同士の付き合い方について、テレビ番組の半沢直樹を例に引きながら、嫌な相手でも「やられたらやり返す」のではなく、相手の弱点を見極めながら、冷静に対応すべきと指摘されました。そのキーワードとして、教育と環境の2点を挙げ

ておられます。なかなか聞けない話に、勉強会後も質問される姿もありました。



### ご意見およびご要望をお寄せください!

- ご連絡先
- 福岡市議会自由民主党控室  
TEL092-711-4722 FAX092-741-4874
- うちこし基安 事務所  
福岡市南区井尻 4-3-49 (西鉄井尻駅交番前)  
TEL092-589-3600 FAX092-589-3636  
Eメール m@uchikoshi.info  
サイト <http://www.uchikoshi.info/>  
どうぞ、お気軽にお立ち寄りください!

